

## 神戸大学大学院経営学研究科と英国シェフィールド大学マネジメント・ スクールとのダブルディグリー・プログラム創設

神戸大学大学院経営学研究科長 鈴木 一水

連絡先 TEL : 078-803-6900

e-mail : dean.bs@b.kobe-u.ac.jp

### 概 要

神戸大学大学院経営学研究科とシェフィールド大学マネジメント・スクールは博士課程(経営学)のダブルディグリー・プログラムを 2017 年度から開始します。これは、神戸大学の学生は、後期博士課程 3 年間のうち、2 年目をシェフィールド大学で指導を受け、シェフィールド大学の学生は 2 年目を神戸大学で指導を受け、3 年目に両大学の指導教員から構成される審査会で合格すれば、神戸大学博士(経営学)とシェフィールド大学の Ph.D.を同時に取得できるものです。定員は 1 名で 3 年間の予定で協定を締結しました(延長の可能性あり)。

また、博士論文の執筆と並行して、国際学会等で研究発表を行い、主要な学術雑誌への論文掲載にも挑戦します。

このプログラムには、英語での発表、議論、論文作成のみならず、世界的に認められるキャリアを形成し、国を越えた学術ネットワークを構築してグローバルに活躍できる研究者を養成することが期待されます。

また、社会科学系の博士のダブルディグリー・プログラムは極めて少なく、博士(経営学)の学位に関しては、日本では初めての試みと考えられます(本研究科の調査に基づく)。日本で最も長い伝統を持つ神戸大学大学院経営学研究科と世界有数のマネジメント・スクールであるシェフィールド大学が提携することで、世界の経営学を牽引しうる人材の育成を目指します。

### シェフィールド大学マネジメント・スクール

(Management School, Sheffield University)

英国サウス・ヨークシャー州シェフィールド市を拠点とする英国国立大学であり、英国の大規模研究型大学 24 校で構成されるラッセル・グループの中でもトップ 5 位以内にランクされています。さらに EQUIS, AACSB, AMBA の 3 つの国際認証機関すべてから認証を受けている世界でもごく少数のトリプルクラウン校(世界のビジネススクールトップ 1%)です。



Sheffield  
University  
Management  
School.



# Kobe-SUMS International Doctoral Programme (IDP)

アカデミックな世界のグローバル化が進むに伴い、学者・研究者のキャリア形成に求められている内容と質も大きく変化してきました。今後、日本の学生がアカデミック・キャリアを歩んでいくにあたり、出来るだけ早い段階から、グローバルな環境のもとでキャリアを積む準備を整えることが大変重要になってくると思われます。そのような機会を神戸大学の学生にもってもらえることを目的に、神戸大学経営学研究科とSheffield University Management School (SUMS) はダブル・ドクター・ディグリー・プログラムを立ち上げました。

## 1. Sheffield University Management School について

シェフィールド大学マネージメント・スクールは、サウス・ヨークシャー州シェフィールド市を拠点とする国立大学であり、イギリスの大規模研究型大学24校で構成されるラッセル・グループの中でもトップ5位の中に位置づけられています。また、3つの国際認証機関であるEQUIS, AACSB, AMBAのいずれからも認証を受けている世界でもごく少数のトリプルクラウン校(Triple accreditation、世界のビジネススクールトップ1%)です。

特にシェフィールド市は、中世期から刃物産業が盛んで、ファイナンス主導のイギリスの中でも、日本の「ものづくり」の「知」に対する関心が高く位置づけられています。

Sheffield University Management School における PhD プログラムについては次のサイトを参照して下さい（右欄にはPhD Programme Brochureも掲載されています）。

[www.sheffield.ac.uk/management/study/researchdegrees/whysheffield](http://www.sheffield.ac.uk/management/study/researchdegrees/whysheffield)

## 2. IDPの具体的なプロセスは？

神戸大学の博士後期過程の学生さんにはD1から、シェフィールドおよび神戸にて指導教官がそれぞれつくことになります。D1では、神戸大学にて、具体的にSheffield に来てから、どのような研究をするのか、という点について、神戸とSheffieldの指導教官のもとで、Research Proposalを完成させます。この間、主要な研究方法論を学び、先行研究レビューを終えた後、適切なResearch Questionを設定し、その後のフィールドワーク・プランをたてます。D2からはSheffieldに籍を移して、こちらの指導教官のもとで、フィールドワークを行い、研究を遂行することになります。D3では、神戸に帰り、再び神戸とシェフィールドの指導教官のもとで、博士論文を書き上げます。

博士論文に取り組む間から、国際学会で研究発表を行い、主要なジャーナルに研究論文を掲載することを目的とし、international academic researcherとして、research careerを歩みだす準備をしていくこととなります。

## 3. シェフィールドの指導教官の主要研究テーマは？

すべての分野において、Sustainability, Social Responsibilityをテーマとした学際研究 (Interdisciplinary research)が中心です。特に、Entrepreneurship, Organizational studies, Strategy, Work and Employmentの領域が盛んですが、Marketing and consumersも丁寧な指導をする研究者が揃っています。Management, Accounting & Finance ではオルタナティブな視覚(alternative perspective)を追求する研究が強いです。Quantitative researchよりも、定性的研究(Qualitative research)が中心と考え頂くのがよい、と思います。

詳しくは次のサイトを参照してください。

[www.sheffield.ac.uk/management/research](http://www.sheffield.ac.uk/management/research)

(文: Sheffield University Management School Dr Naoko Komori 小森 尚子)

## 4. IDPに入るためには、何が必要ですか？

一番大切なのは、シェフィールドで何を研究するのか、という目的意識、またPhD論文を完成する、というモチベーション、批判的(critical)かつ独立した(independent)な姿勢と視覚、そして何よりも大切なのが、英語力です。


IELTS 5.5をクリアすることが最低限必要です。これは神戸とのIDPのために特別に設定された点数です。現実のPhDにはもちろんこれ以上の英語力(最低IELTS 7.0)が必要とされますので、英語力を高める努力は必須です。

まずは、Research Questionを考察すると同時に、IELTSの5.5をクリアすることを目的として下さい。

## 5. IDPに入るメリットとは？


概括的にいえば、国際的な環境の中で、アカデミック・パフォーマンスを高めていく素地を整えることが出来ます。具体的には次の通りです。

- ・ 日本(東洋)とイギリス(西洋)の両方の学位を同時に得ることで、国際的な活躍の場が広がる。
- ・ その分野での主要な国際的に高い評価を受けている学術ジャーナルに投稿する、またはそのための準備が整う。
- ・ 研究対象の枠が日本を超えて、イギリス/ヨーロッパにまで広げることが出来る。
- ・ 主要な国際学会で発表する機会が増える。
- ・ キャリア形成の場/機会が増える。
- ・ 国際的共同研究に参加できる機会が増え、ネットワークが日本を超えて形成できる。
- ・ 大学の教職ポジションを得る可能性が世界に広がる。



“このプログラムは、アカデミックパートナーである、神戸大学とシェフィールド大学という、世界的にトップレベルの大学で学ぶ機会を、神戸とシェフィールドの双方の学生さんに与え、そうすることによって彼らのPhDの可能性を広げる無比の機会を作り出す、と確信しています。”

Professor Andrew Simpson,  
Sheffield University  
Management School



“このダブル・ドクター・ディグリー・プログラムが大変貴重なのは、学生が神戸にとシェフィールドの指導教官のもと、それぞれ異なった環境の中で、1年間の研究活動を遂行する経験ができる、という点です。”

Professor Kazumi Suzuki,  
Graduate School of Business  
Administration, Kobe University

神戸大学-シェフィールド大学  
ダブル・ドクター・ディグリー・プログラム  
Kobe-SUMS International Doctoral Programme (IDP)

学 生

- D1 神戸で基礎学習
- D2 英国でフィールド・リサーチ
- D3 神戸で博士論文作成

グローバル  
研究人材

アントレ  
プレナー  
シップ

文理  
融合

教 員

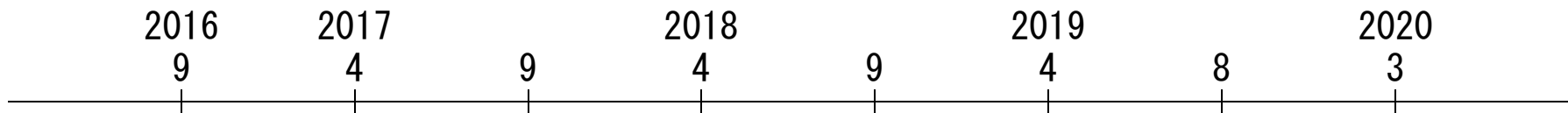
- 共同学生指導
- 共同フィールド・リサーチ
- 共同研究・共著論文作成

グローバル  
研究ネットワーク

グローバル・ハブ・キャンパス

- 文理融合型社会システムイノベーション研究拠点の形成
- グローバルに活躍する研究者の養成

# IDPプログラム・カリキュラム



神戸大学

日本  
講義

英国  
講義  
フィールドワーク  
論文作成

日本  
論文作成

神戸大学博士  
Ph. D, SUMS

SUMS

英国  
講義

日本  
講義  
フィールドワーク  
論文作成

英国  
論文作成

共同指導  
共同審査

Ph. D, SUMS  
神戸大学博士